

それぞれの AI 物語通信 No.12

2024年6月16日

絵に描いた餅営業

多くのものができていますが、まだ途中の物もあります。日々進化していくので、今の状況に合わせてバージョンアップするのは費用と時間がかかります。今まではでき上るまで我慢してやってきていましたが、開発要員が少なく時間がかかりすぎます。そこで「絵に描いた餅」営業が重要になります。以下の AI ストーリー事業化サイトにカタログがあり、だれでもダウンロードできます。

AI ストーリー事業化サイト/AI プロダクション/ダウンロード ↓ 以下にリンクしています。

<https://tsd.co.jp/aistory/download.php>

DAO それぞれの AI 物語の考えは、自分で AI トレーナー 玲子を活用して AI ビジネスを行うことですが、なかなか時間がかかります。実は金曜日ですが、柳田さんの事務所で、柳田さん、林さん、高能さんと打ち合わせしました。

●日経 225 の例

その中で高能さんは個人で日経 225 をやっておられるとのこと。もし開発費が得られれば、私が作った以前の日経 225 を AI 化できます。

ここでプロデュースを行い、販売したい企業に販売権を譲ることで、開発費用をもらうこともできます。プロデュースをした人は、それ相応のマーゲンをもらえばよいわけで、その額はご自分で決定できます。映画のプロデュースと同じです。2 億円で映画を作るために、2 億円を手に入れ、全部の支払いを済ませ、売り上げが 5 億円だとします。3 億円はプロデュースした人の利益です。

●デザインソフトの例

トヨタ自動車関係はアドビのソフトは使えません。なぜならクラウドでサブスクだからです。とあるグループ企業の機密流出により、サウスク(クラウド)ソフトは危ないということで使用禁止です。その相談を受け、こちらで Photo Shop のようなデザインソフトを作るかもしれません。操作もマウスではなくボイスにして、その日から誰でもが掛けるようにします。来週以降で打ち合わせを行います。まだできているものではありません。

こういったものを企画レベルで要望のある企業と話をし、プロデュースすることをしていただければと思います。まずは利益が稼げれば弾みが付きます。赤坂見附の柳田さんの事務所だけでなく、AI スクール展開を契約した企業が竹橋にあります。いろいろな場所でショールーム展示し、営業もできます。機は熟しました。まずは実績を作っていきたいと思います。

以上